

かじたま 鯉中魂



学級通信
鯉沢中
3年生
2019年6月5日
No. 6
ベストを尽くせ!!!



いざ、最後の地区総体へ



中学校生活を語るとき大きな部分を占めるのが部活動です。みなさんも、たくさんの時間をかけて部活動に取り組んできました。鯉沢中は3つの部しかありませんが、入学したとき小学校からやってきたスポーツを続けた人もいれば、どの部に入るか悩んで新しいことにチャレンジした人もいました。先輩たちの姿に憧れながら、その姿を追いかけてきたのに、今は後輩からお手本にされる立場になっています。

自分たちの力を信じて、積み上げてきたものを精一杯出しきってほしいです。努力を積み重ねてきたのは、鯉沢中だけでなく、他校の生徒も同じです。気持ちだけではどうにもならない技術の差があるかもしれません。だから勝負に負けることもあります。しかし、大事なのは大会が終わったとき、すべてを出しきったと思えることです。熱い思いを胸に、各部の目標を果たしてきてほしいと思います。

それから、いまさら繰り返す必要はないかもしれませんが、ずっと一緒にやってきたチームメイトがいて、指導してくださった先生方がいて、支えてくれた家族がいて・・・そうやって今日を迎えていることを改めて自覚してください。苦しいときこそ、支えてくれた人たちの思いがあなたを後押ししてくれるはずです。多くの支えの中で、部活動ができていることに感謝の気持ちを忘れずに。峡南地域に鯉中魂をとどろかせよう!!!



保護者のみなさまへ

いよいよ最後の公式戦、峡南地区総体が始まります。子どもたちは一所懸命部活動に打ち込み、毎日清々しい汗を流しています。最高のコンディションで本番を迎えられるよう、ご家庭でのサポートをお願いします。また、お弁当の準備も重ねてよろしくお願いします。

☆理科室で育てている、光合成の実験でおなじみの、オオカナダモに花が咲きました☆



藻(モ)と言うくらいだから、花が咲かず、孢子でふえる藻類(そうるい)の仲間と思いきや、実は被子植物の仲間なのです。生物の多様性を感じます。



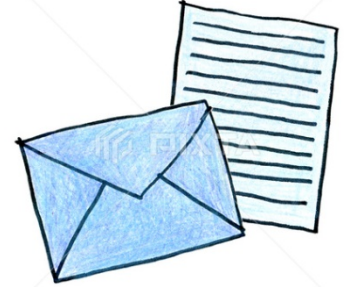
道徳「二通の手紙」～きまりの意義～



読み物について

動物園の模範的な職員だった元さんが、幼い姉弟への同情からきまりを破り、入園時間を過ぎた園に姉弟を通してしまいます。その結果、姉弟を危険にさらし、多くの人に迷惑をかけてしまいます。最終的に元さんは動物園を自ら辞めていきます。

誰しも、元さんに同情したい気持ちをもつと思いますが、個人的な感情できまりを破ることは、ときに社会の秩序を乱し、他者の権利を奪ってしまうこともあるのです。



元さんが「この年になって初めて考えさせられた」のはどんなことですか？

- ⌘ 法律やきまりは安全のためにあり、決して理不尽なことではないと思う。しかし、みんなを幸せにできるかと問われたら、100%で肯定することはできない。
- ⌘ 相手のことを考えることも大切だけど、規則を守らなければ、誰かが危険にさらされてしまう場合もあるということ。社会の様々なきまりは、危険が起こらないようにある。
- ⌘ 自分の思いよりも、規則を優先させたほうが、本当の思いやりになることがある。自分の判断の責任の重さや、規則があることの意味を考えさせられた。きまりは、いろいろな人たちの安全を守るためにあるから、きまりを守っていかうと思った。
- ⌘ わかっている。でも、正義の刃（やいば）をふりかざされる。でも、どうしようもないときがある。規則は誰かが決めたことだが、何らかの必要性があるからこそ、きまりがあるとも言える。「何を一番に考えるべきか」と「誰にとって一番か」はずいぶん違う。でも、「反論できない正しさ」（命が危険にさらされたらどうする？）も存在する。

6/4(火) 応援団の熱のこもった声が、鯉沢中の士気を高めます!!!

